

品川区庁舎機能検討委員会の実施状況について

1. 「品川区庁舎機能検討委員会」について

(1) 委員会の役割

区長の諮問に応じ、新庁舎の機能の検討に関する事項を審議し、その結果を答申する。

(2) 委員会の構成

委員（24名）

内訳：学識経験者（3名）、区内関係団体（12名）

公募区民（5名）、区議会議員（4名）

2. 「第1回品川区庁舎機能検討委員会」について

(1) 開催日時 令和2年7月13日（月）午後2時から4時

(2) 内 容

委員委嘱の後、区長より委員長に諮問を行い、候補地（土地再編による広町敷地）および現庁舎の現状と課題等について事務局より説明し、意見交換を行った。

(3) 主な意見

- ・ 華美なものは区政の継続性を妨げるので、避けなければならない。
- ・ 障害の有無に関わらず自由に行き来ができる庁舎にしたい。
- ・ 23区の中でも、品川区役所は時代の最先端であるという、素晴らしい庁舎を目指したい。
- ・ 庁舎のICT等を強化していく中で、全学校とつながっていける環境を整えたい。
- ・ 災害対策本部が盤石であることが最低限の条件である。

3. 「第2回品川区庁舎機能検討委員会」について

(1) 開催日時 令和2年9月9日（水）午前10時から12時

(2) 内 容

新庁舎事業、機能検討の進め方、機能の分類等について事務局より説明した。その後、「防災拠点機能を強化した庁舎」「環境に配慮した庁舎」の分野について、ご審議いただいた。

(3) 主な意見

① 防災拠点機能を強化した庁舎

- ・ 自然災害と感染症拡大の複合災害のリスクにも配慮する必要がある。
- ・ 新庁舎に担わせる機能と、他に分散する機能を区分けして、基本的

なコンセプトをしっかりと持ったほうが良い。

- ・防災体験館など防災普及啓発機能も検討してほしい。

② 環境に配慮した庁舎

- ・ZEBやCASBEEにおける、高い環境性能を目指してほしい。
- ・自然採光、自然通風の活用など、構造上のアイデアで実現できる地道な仕組みを取り入れてほしい。
- ・残業や紙資料を減らすことも有効な環境対策である。

4. 今後の予定

(1) 第3回品川区庁舎機能検討委員会

- ① 開催日時 令和2年11月16日(月) 午後1時30分から3時30分
- ② 内 容 分野別審議

(2) 第4回品川区庁舎機能検討委員会

- ① 開催日時 令和3年1月ごろ
- ② 内 容 分野別審議

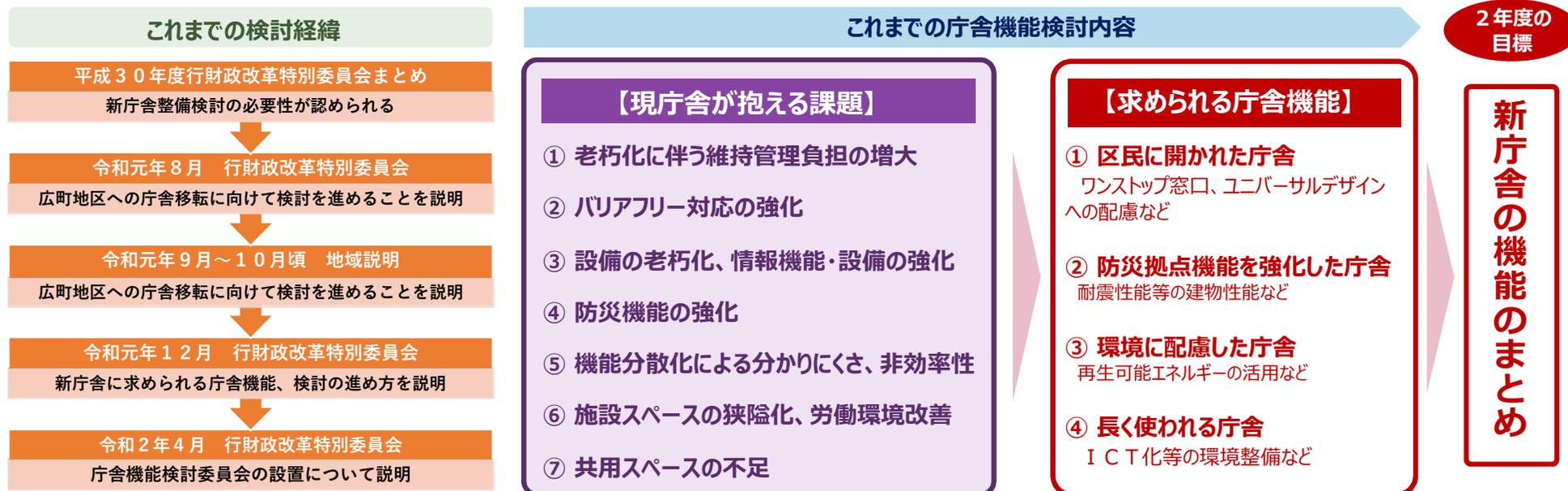
(3) 第5回品川区庁舎機能検討委員会

- ① 開催日時 令和3年3月ごろ
- ② 内 容 ・庁舎機能検討全体のまとめ
・区長への答申

第1回品川区庁舎機能検討委員会の概要

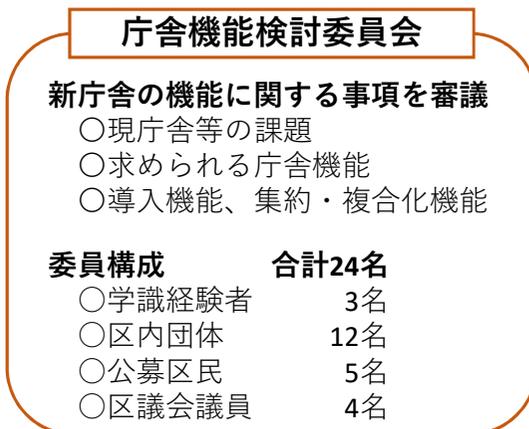
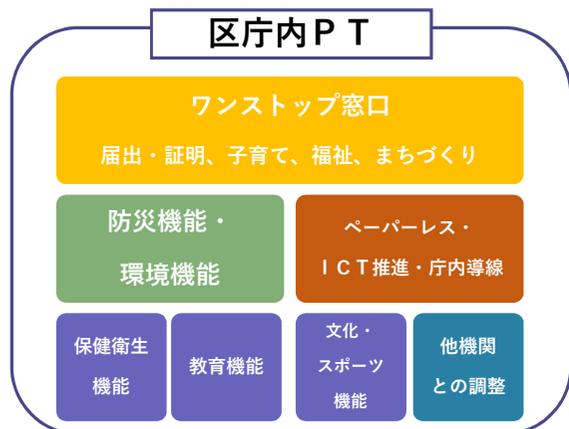
1.これまでの検討経緯および庁舎機能検討内容

現庁舎の現況調査、庁内意見の集約、先進自治体・民間オフィスの視察などを実施し、**現庁舎の課題を抽出し、求められる庁舎機能について検討**を行ってきた。



2.令和2年度の庁舎機能検討体制とスケジュール

庁内PTを設置し、より具体的な庁舎機能検討を行うとともに、**幅広い意見を反映させるため、庁舎機能検討委員会を設置し、庁内PTの検討案をもとに庁舎機能について審議**する。



令和2年 (2020年) 7月13日	9月頃	11月頃	令和3年 (2021年) 1月頃	3月頃
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
・区長からの説明 ・現状と課題等の説明	・庁舎機能の検討① ・庁内PT検討案等	・庁内機能の検討②	・庁舎機能のまとめ③ ・庁内機能の説明	・庁舎機能のまとめ ・今後のスケジュール ・区長への説明

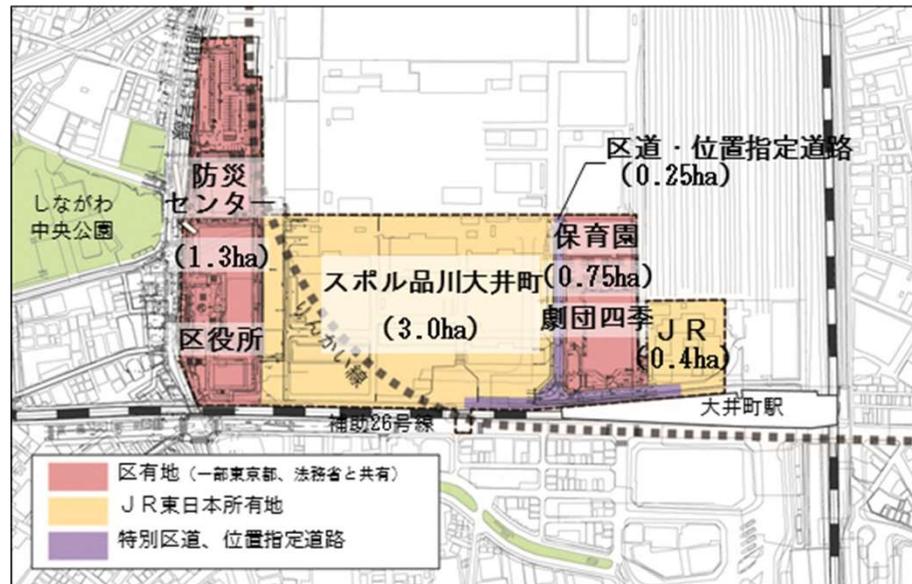
品川区庁舎機能検討委員会 想定スケジュール

第1回品川区庁舎機能検討委員会の概要

3. 広町地区におけるまちづくりの検討状況

区有地およびJR 広町社宅跡地（現スポル品川大井町）からなる広町地区のまちづくりについて、区はJR 東日本との検討を進めています。

土地利用の現況



検討状況

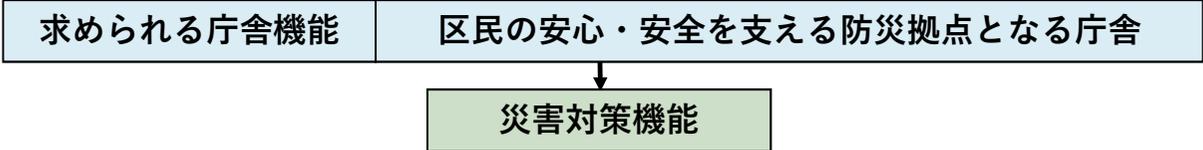


新庁舎建設候補地

土地再編による広町敷地を新庁舎建設の有力な候補地としています。
上記への庁舎移転では次の点がポイントとなることが想定されます。

- ★品川区の中心大井町の顔となる庁舎
- ★大井町駅周辺のさらなるにぎわいの向上

1.導入機能の検討 災害対策機能



災害対策本部機能

あるべき姿

- 災害対策本部機能の強化
 - ・区の災害対策の中核機能としての役割を果たすため、災害対策本部の機能の充実、強化を図る。
- 災害対策機能の適切な配置
 - ・災害対策本部室及び関連諸室は迅速かつ的確な意思決定ができる適切な配置とし、必要諸室は、専用の部屋に限らず、平時には会議室などとしてフレキシブルに活用することも検討する。



防災課専用室及び指令情報室等で構成された災害防災センター。災害時には災害対策本部室に転用。（出典：豊島区）

地域内輸送拠点機能

あるべき姿

- 地域内輸送拠点としての機能確保
 - ・区の中に位置する地域内輸送拠点として、区民の安心安全を支えるため、集配機能の確保を行う。



幹線道路に面した防災広場を設置し、幹線道路からのアクセス性の向上、周辺施設と連携した防災拠点の実現例（出典：国土交通省）

災害時の区民受け入れ機能

あるべき姿

- 広域避難場所の確保
 - ・広域避難場所としての機能を庁舎を含む一帯のエリアで確保する。
- 被災者対応スペースの確保
 - ・被災者の生活支援を行うための臨時対応スペースを確保する。臨時対応スペースは、平時には区民交流スペースや情報発信スペースとしての活用を検討する。



写真－被災者受け入れ状況（エントランスホール）

熊本地震時の被災者受け入れ状況 エントランスホールを被災者受け入れのスペースとして利用（出典：国土交通省）

建物性能・バックアップ機能

あるべき姿

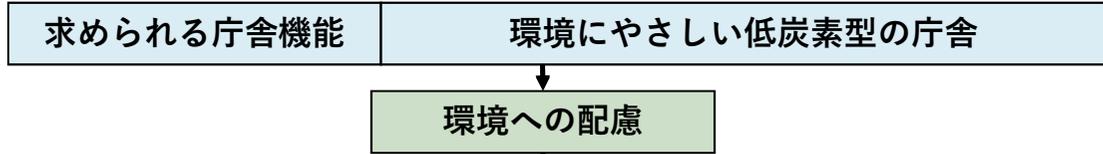
- 耐震性の確保
 - ・災害発生時に災害対策本部としての機能を発揮するため、高い耐震性を確保する。
- ライフラインのバックアップ機能の確保
 - ・行政機能の継続性の確保及び、庁舎の機能維持を行えるように備える。
- 備蓄スペースと搬入経路の確保
 - ・災害発生時に支援物資が供給されないことに備え、必要な資機材や食料、飲料水を保管する備蓄スペースとそれらの搬入経路を確保する。



市庁舎に設置されたマンホールトイレ（出典：山梨県甲府市）

第2回品川区庁舎機能検討委員会の概要

2.導入機能の検討 環境への配慮



環境性能

あるべき姿

■環境性能の確保

- 高い環境性能を備えた庁舎を整備し、環境配慮する。

省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用

あるべき姿

■省エネルギーの推進

- 省エネルギーを推進し、エネルギー使用量を抑え、設備機器の寿命を延ばす。

■再生可能エネルギーの活用

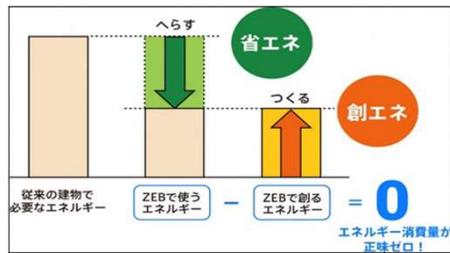
- 再生可能エネルギーを積極的に活用し、地球温暖化対策、燃料資源の枯渇に備える。

周辺環境への配慮

あるべき姿

■周辺環境への配慮

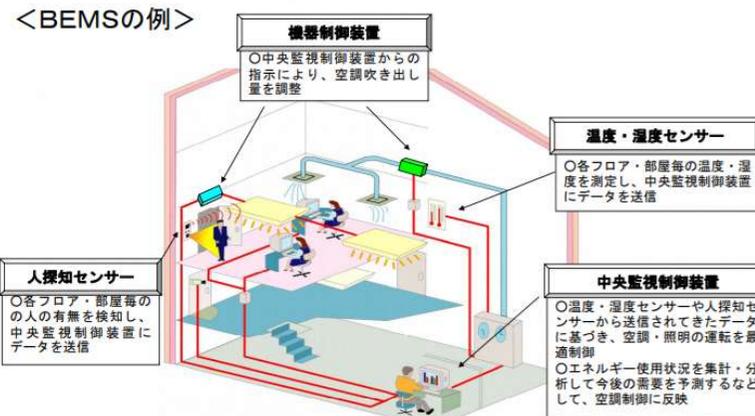
- 敷地や建物の緑化や内装材等への木材の活用、環境負荷低減に配慮した建築資材の活用等により周辺環境への配慮した庁舎とする。



ZEB：快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロを目指した建物（出典：環境省）



CASBEE：建築物の環境性能や環境負荷について多面的かつ客観的な観点から評価する手法（出典：渋谷区）



BEMS（ビル・エネルギー管理システム）を導入することで、ITを利用して照明や空調などを制御し、最適なエネルギーの管理を行うことが可能（出典：環境省）



環境学習プログラムにも対応可能な屋上緑化（出典：豊島区）



内装を木質化した延岡市庁舎（出典：岡山市）